

気軽に暮らしの中へ 秋は“和”の花を楽しもう



残暑は続きますが、店頭には秋の植物たちが並びだす時期です。切花もガーデニングも、そろそろ秋の花を楽しみたいな、とそわそわしてきますよね。

秋の花といえば、思い浮かぶのは何でしょうか？日本には『秋の七草』と呼ばれるものが存在します。女郎花・芒・桔梗・撫子・藤袴・葛・萩の7種類のことで、万葉集に収められた、山上憶良（やまのうえのおくら）が詠んだ和歌に登場したことが由来とされています。これらの植物は、秋のお彼岸から十五夜の時期が見頃となっており、秋を代表する草花となっています。『秋の七草』の他にも、ワレモコウやリンドウ、シュウメイギクなど、秋は日本に古くから存在する植物が多く見られます。洋花よりも少し控えめで、楚々とした雰囲気をもたらす植物たちは、まさに日本古来の奥ゆかしさを代弁してくれるようです。

また、9月9日は『重陽（ちょうよう）の節句』といって、不老長寿や無病息災を願ってキクを飾る習慣が古くから存在します。日本でキクというと、どうしてもお供え物をイメージしてしまいがちですが、豪華な大輪品種や可愛らしいピンボンマムなど、種類が豊富で観賞価値の高い植物でもあります。大変花もちの良い植物でもありますので、秋の夜長にキクを愛でてみてはいかがでしょうか。

和のお花というと生け花のイメージがあって、飾るのが難しいそう…と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ですがあまり難しく考えずに、花瓶にほんの1輪を飾るだけでも大丈夫です。洋花と組み合わせても、いつもと違った雰囲気が楽しめますよ。まだまだ気温の高いこの時期だからこそ、和のお花で秋の空気を感じてみませんか。



① 秋色マムのアレンジメント
¥10,000（税込¥11,000）
大輪の豪華な菊をふんだんにあしらった、秋の風を感じるアレンジメントです。



② 秋の木箱アレンジメント ¥5,000（税込¥5,500）
キキョウやリンドウ、ワレモコウなど、秋を代表する草花を詰め込んだ和風のアレンジメントです。



③ 気温が落ち着く秋はガーデニングも楽しい季節！
寄せ植えにも和のお花を活用してみましょう。

春の準備を始めましょう♪

秋植え球根の販売が開始されます。春の花壇や寄せ植えから、可愛らしく顔を出す球根植物。球根を植えると、地中から芽が出る様子、そこから開花までの成長過程を楽しめます。

暑い時期に植えると球根が腐ることがありますので、植え付けは11月頃がおすすめです。年内に植え付ければ、春には美しい花を咲かせてくれます。植え付け後は球根が水を必要とするため、しっかり水やりを行いましょう。土の表面が乾いたらたっぷりと与えるのがポイントです。

販売は9月下旬頃から始まりますが、ユリの球根は少し遅れて販売されます。人気品種は売り切れになることも多いため、早めの購入がおすすめです。植え付けまでの間、球根は雨の当たらない日陰や室内で管理してください。

定番のチューリップやスイセン、ユリなどだけでなく、鉢植えでは手に入らない珍しい球根も多数販売されます。近年人気の水耕栽培も、この時期に販売される球根で楽しむことができます。背が低く育つヒヤシンスやムスカリが特におすすめです。

【おすすめのチューリップ球根品種】



④ 紫水晶



⑤ 桃太郎



⑥ クランベリーシスル



⑦ ファイヤーウィングス



⑧ クリスピオンスイート



⑨ 重陽の節句にはころんと可愛いキクの一輪挿しもおすすめです。

⑩ お好きな花瓶におまかせで。
持ち帰って飾るだけのオーダーも承っています。